

江府町の地域おこし協力隊の活動日記  vol.14 『今、忙しく取り組んでいること』

新居が決まりました！退任後も江府町で活動していきます。

十七夜も終わり、お盆が過ぎて、今、まさに引越し準備の真っ只中です！9月からいよいよ江府町の最北？集落！大河原の家で暮らしていくこととなります。そこは、なんだか「ぼつんと一軒家」に出てきそうな森の中のお家です。長年空き家になっていたこともあり、まずは住めるように急いで整えているところです！「今度、大河原に引越しするんです！」って言うと、みんなから口を揃えて、「雪が大変だよー」と必ず言われます。冬が来る前に家の周りに囲いをつけることも絶対条件。除雪車なんてもちろん持ってないので、どうなることやら…。凍結のことや、何もかもが初めてで、知らないこともいろいろあって結構ドキドキです。だけど、町内で素敵なお家を見つけることができ、ようやく本格的に移住してきたという実感も湧きそうで、不安よりもワクワクが大きくて、とても楽しみです！引越しが落ち着いたら早めに作業場を作りたいと思っています！冷やかしく大歓迎！ぜひ皆さん覗きにきてください(^^)／



観光振興班 いわさき ちえ
岩崎 智恵

3年目がやってきました。頑張ります！！

9月はもう皆さまも大忙しの季節かと思えます。こちら宮市でも稲刈りシーズンが始まり1日に何度も天気予報を見る日々がやってきました。今年の水稲は6.2haです。移住して3年目の稲刈り。早いものでもう3度目の稲刈りがやってきました。毎年毎年「ああすれば良かった」「こうすれば良かった」と反省するんですが、1年に1度のタイミングを逃すと次年度に持ち越し。この試行錯誤のサイクルスパンが長いのも農業の不思議な魅力の一つですね。水稲は儲からないと言われる作物ですが、この美味しい江府町のお米をもっと世に知ってもらいたいと思います。9月は皆さんほんと忙しい季節かと思えます！頑張りましょう！



法人宮市班 まつもと よしふみ
松本 良史

笠良原にて、自分で住む家をセルフリフォーム中です！

現在、笠良原に引っ越すために新住居のリフォーム中です。まだまだ、かかりそうですがやっと窓や扉を入れてロフトも出来ました！ロフトから見える外の景色は最高です！ここで寝るのが楽しみ。やはり自分自身で住まいを作るのは何とやりがいのある仕事です。達成感をすごく感じます。次は内装をもっと快適にしたり入口に庇（ひさし）を作ります。来年の春には引っ越せるよう頑張らねばなりません！



農業振興班 くわはた さいもん
柴畑 才文



▲商品提供する日野高校のみなさん
(写真左から：清水さん、小坂さん、加藤さん)

日野高レポート 

「課題研究」開発商品の巻

江尾十七夜前夜祭の8月16日（金）、えんちゃん江尾店特設会場において、日野高校の課題研究で開発された商品「フワシユフカき氷」が販売されました。この課題研究は「地域を元気にする」というテーマのもと取り組まれ、日野高校3年生の清水麻衣さん、小坂徳真さん、加藤穂恵さんと、日野高校教員により商品を考案。奥大山の水で作ったかき氷に、町内産ブルーベリーで作った甘酸っぱいソースをかけたものが、30食限定で提供され、約1時間で完売しました。食べ終えた方からは「泡立っているのが新食感でした。ソースが爽やかでおいしかったです」と感想が述べられました。